

漁海況情報第8報 (2017年11月16日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表層・100m層ともに平年より低水温で、特に142° 30′ E付近に冷水が波及しています。宮城県沿岸の表面水温は13～16℃台、100m深水温は5～13℃台となっています。[P1.水温水平分布図][P1.水温平年偏差図]。沿岸域の水温は平年よりも表層で1～3℃、100m層で1～5℃低めとなっており、特に142° 30′ E付近で冷水の波及が顕著です。水温鉛直断面図からも、142° 30′ E近辺に冷水が波及しているのが見て取れます。[P2.水温鉛直断面図]。

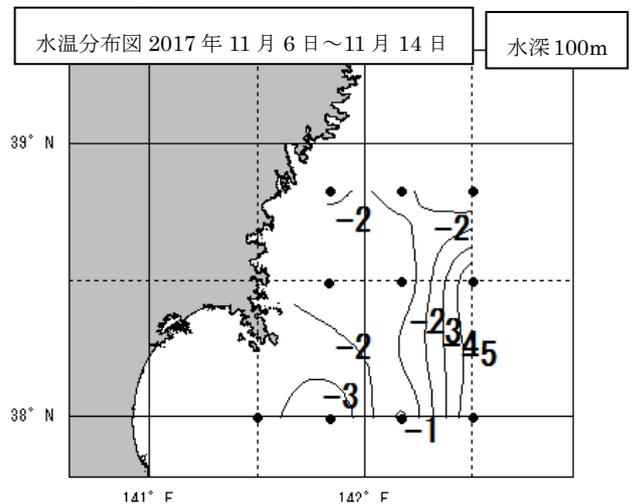
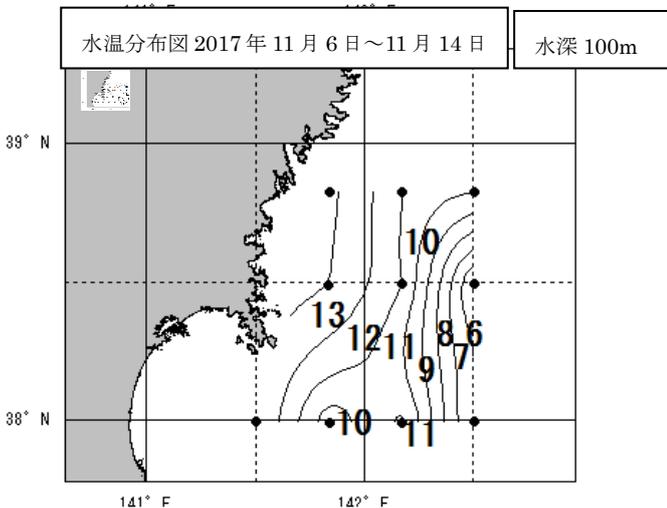
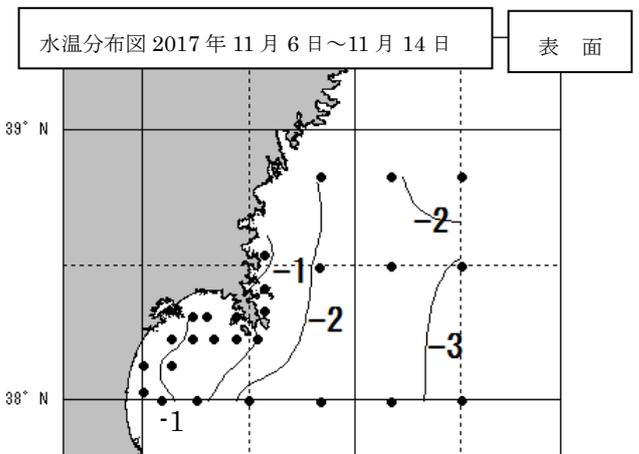
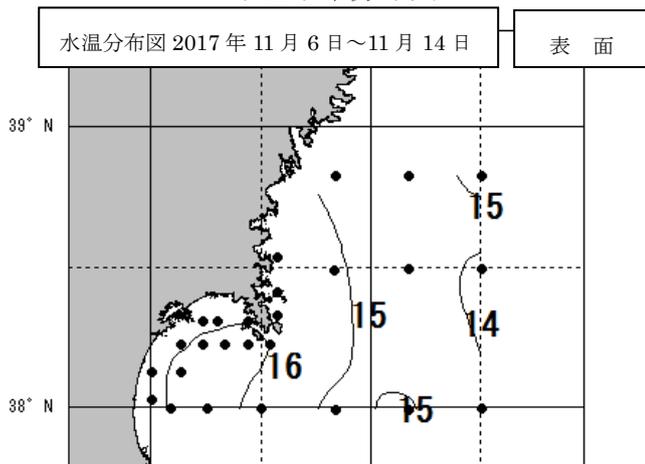
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝先端は津軽暖流と北上暖流に阻まれて八戸沖50海里で停滞していますが、第二分枝は強勢で、福島県富岡沖まで南下しています。

[P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

11月上旬の定地水温は14～16℃台となっています。気仙沼・歌津・江島ではやや低め、他の測点では平年並みです。海底直上水温は4～16℃台で、昨年より低めです。[P3.海底直上水温図]。

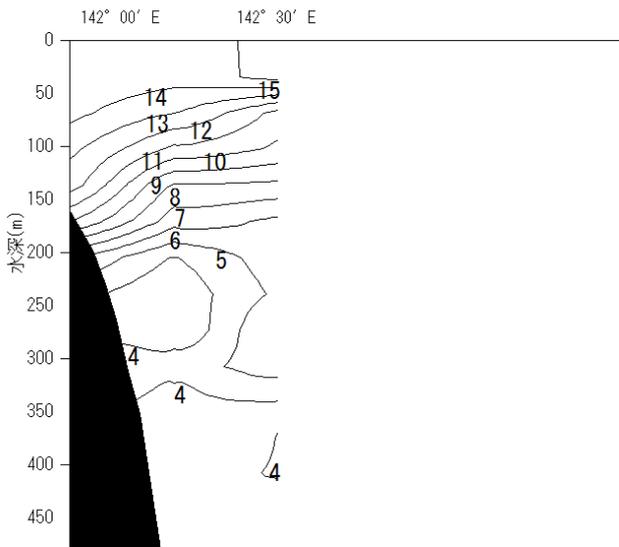
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

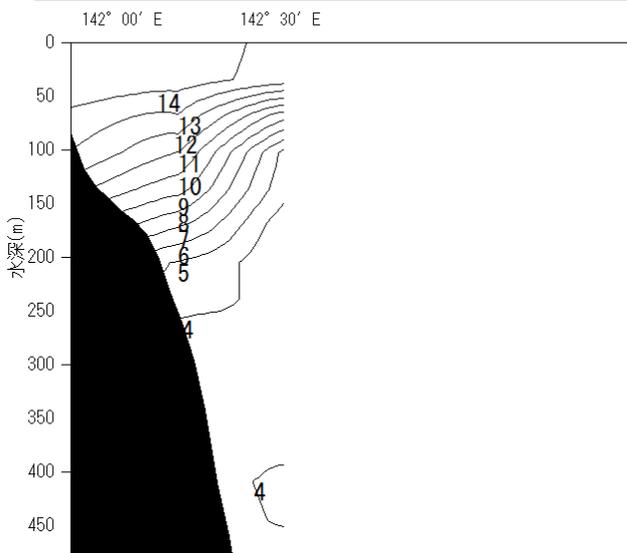


・水温鉛直断面図

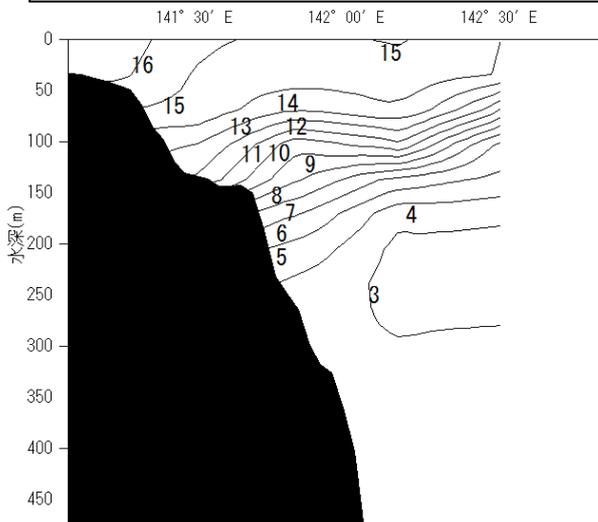
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

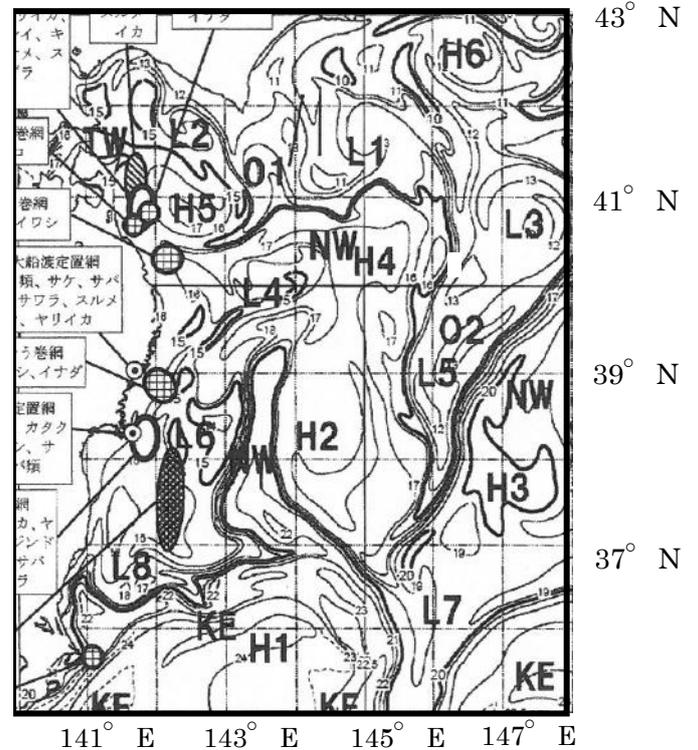


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2017年11月9日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

【海況】(11月9日表面水温)

- ・親潮第一分枝(15°C以下)は津軽暖流(15~16°C台)と北上暖水(16~17°C台)に阻まれ八戸東50海里で停滞。
- ・第二分枝は強勢で15°C以下の先端は福島県富岡沖146°E付近。
- ・沿岸の混合水は15°C台が下北~仙台湾周辺に分布し、岩手~宮城の143°E以西の岸寄りには13~14°C台の小規模な冷水域が散在。
- ・浪江~那珂湊沿岸には16~17°C台が分布し、潮境南側の鹿島~大東崎は19~20°C台を維持。

【漁況】(11月7~9日)

- ・まき網：1 そうまき網は三陸沖でサバ、マイワシ、イナダを漁獲。2 そうまき網は八戸沖でセグロ、犬吠埼でイナダを漁獲。まき網が漁獲したマイワシの粗脂肪量は90g以上の大中型で15%以上あり脂がのっています。
- ・定置網：石巻はブリ類、大船渡はブリ類とサケ中心に水揚。
- ・サンマ：宮城~福島沖が主漁場となり東北への水揚増加。
- ・スルメイカ：釣りは青森で継続。底びき網は石巻が1日36~74トンの水揚げし好調。

・定地海洋観測



	11月上旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	14.9	やや低め	-1.1
歌津	15.5	やや低め	-0.7
江島	15.6	やや低め	-1.2
田代島	16.1	平年並み	-0.6
佐須浜	15.8	平年並み	-0.3
桂島	15.2	平年並み	0.6
巨理	15.8	平年並み	-0.6

※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

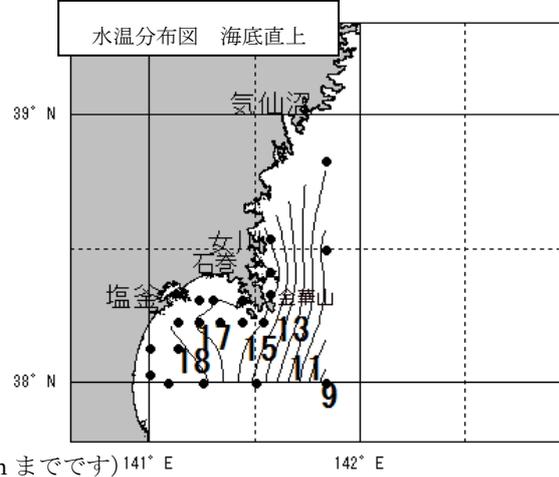
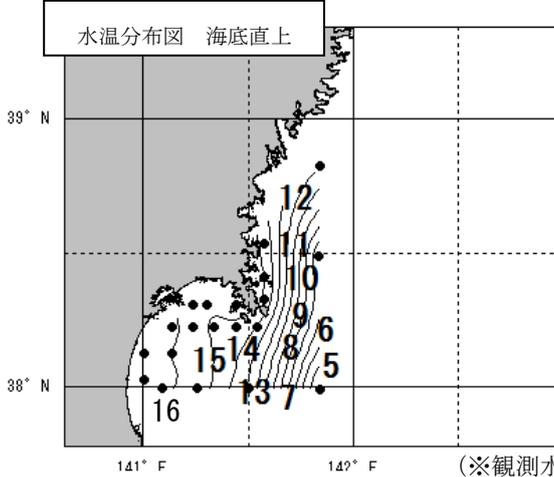
※最新の定地海洋観測結果は,

<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2017年 11月 6日～11月 14日)

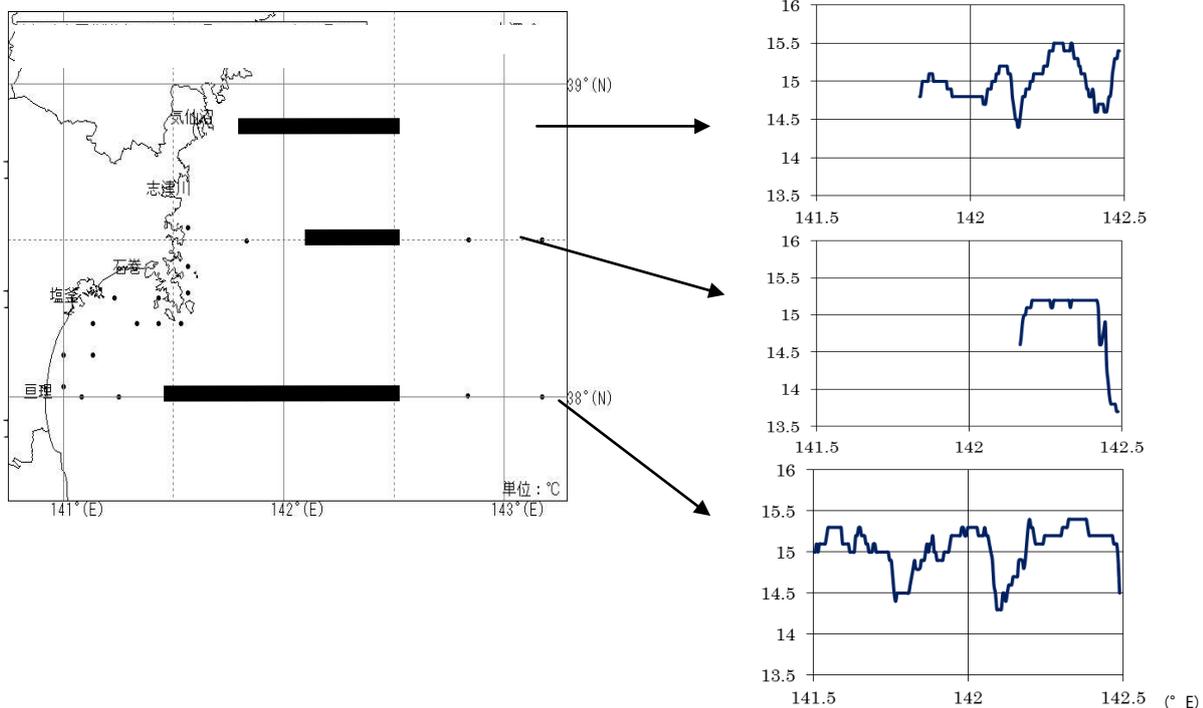
・海底直上水温(2016年 10月 31日～11月 2日)



(※観測水深は 500m までです)

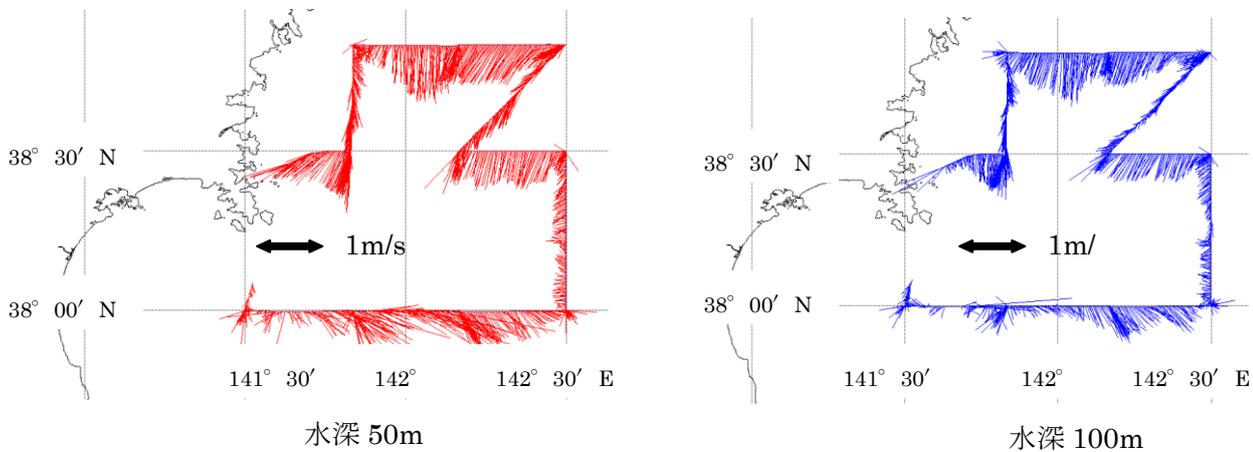
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。南向きの流れが卓越しています。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

前年と比較して、マイワシ、ババガレイ、ブリ、スルメイカ、ビンナガなどが水揚げを伸ばしています。カツオ、クロマグロ、カタクチイワシ、サバ類、サンマ、サワラ、ヤリイカ等の水揚げは減少しています。

(単位：トン)

2017年10月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
カツオ					787	0			0	2	309	1099	41%
クロマグロ						3	0		2	0	1	6	35%
メバチ					6				336	0	1	343	686%
ビンナガ					3				28	2	2	34	200%
キハダ					1				14	0	1	16	59%
マイワシ			5017			634					221	5872	809%
カタクチイワシ						41					16	57	22%
サバ類	134	9	265			81	6				4	499	44%
マアジ	7	10	0			22	1				1	41	73%
ブリ	0	3	31			690	15			0	30	769	390%
ヒラメ	1	15	0			7	7		0		6	36	103%
マコガレイ	3	69	0			0	1				1	74	164%
マガレイ		2	1			0	0				0	4	100%
ババガレイ	3	69	0			0	1				1	74	617%
サンマ				4788							11	4799	40%
スルメイカ	796	4	1			2		8			0	811	286%
ヤリイカ	100	11	1			6					1	119	29%
シロサケ	70	4				300	248			0	720	1341	106%
マダラ	51	0	0				2		0		26	80	78%
サワラ	0	0	0			37	3		0	0	1	42	13%
ガザミ		6				2	35				57	100	73%

5. 調査船運航計画

みやしお	
11月27~28日	沿岸定線調査
開洋	
11月27~28日	浅海定線調査